

news

デスマチルトコトリエノール、年内に上市

VEの中で抗酸化力が最も強い成分

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・56614714)は、「デスマチルトコトリエノール」シクロデキストリン包接体の供給を年内に開始する。

この過程で、αからのいくほどメチル基の数が少なく、分子が小さくなるため、吸収性が高まるほか、抗酸化力もαが最も強いことが明らかにされたという。

一方で自身が酸化されやすく、不安定な物質でもある。そこで同社では、γシクロデキストリンで包接することで、その安定性を高めることに成功。業界初となる「デスマチルトコトリエノール」の供給を開始する。

同社では、国立健康栄養研究所と共同で吸収性の研究を行った後、大阪市立大学の西川教授と線虫を用いたトコトリエノールの試験を実施した。

「ビタミンEの抗酸化力は知られていますが、その根源は『デスマチルトコトリエノール』であることが明らかです。当社では、独自の技術で成分を安定化させ、供給できる体制が整いました。データの集積・整理を進め、年内の発売を目指しています。」(代表取締役社長・寺尾啓二氏)

γシクロデキストリンで包接したαからのトコトリエノールを線虫に投与した後、その生存率を検討したところ、δトコトリエノール投与群に延命効果が得られた。ほかにもδトコトリエノールは、その強力な抗酸化力により、紫外線防御効果、美白作用、神経保護作用、抗糖尿作用、中性脂肪低下作用、心疾患への作用など、広域にわたって有用性が確認されている。

ビタミンEの新しい可能性を開く新規成分として注目を集めそうだ。